

30⁺圏内自治体に事前了解権を UPZ議員研究会が長岡市で集会

柏崎刈羽原子力発電所30⁺圏内議員研究会（会長は関三郎見附市議）は24日、地元紙に意見広告を出すためのクラウドファンディングを25日からスタートさせるキックオフ集会をハイブ長岡で開きました。

集会では関会長がこの会の目的とこれまでの取組について説明した後、平良木哲也上越市議と関貴志長岡市議が今回のクラウドファンディングについて説明しました。

柏崎刈羽原発の再稼働に当たっては30⁺圏内の自治体に事前了解権を与え、それを東京電力との安全協定に盛り込むべきだ、という意見広告を8月15日までに新潟日報に掲載したい。その費用は約180万円。この費用を25日から6月23日までのクラウドファンディングで集めようという内容です。

続いて元巻町長の笹口孝明さんが「原発と向き合う自治体の役割」というテーマで講演しました。笹口さんは、この会の取組について、

「たいへん意義あることだ。県や東電だけではダメ。30⁺圏内（UPZ）の事前了解が必要だ。困難があるだろうがぜひ実現してほしい」「知事選では柏崎刈羽原発の再稼働が最大の争点だし、なるべきだ。争点ばかりにならないようにしよう」「重大なことはみんなが決めよう。原発については、日本は政策転換を図り、大きく舵を切るべき時に来ている。原発のない社会をつくろう」と訴えられました。笹口さんの話は初めて聴きましたが、分かりやすく、無駄がない、とても好感のもてる講演でした。

講演後、飯塚寿之柏崎市議長が進行役を務め、笹口さん、関会長、長井由喜雄燕市議、諏佐武史長岡市議で、会が昨年取り組



【シャク】（再掲）セリ科の多年草。漢字で「杓」と書きます。別名は「ヤマニンジン」です。山地で湿気のある場所に多く見られます。茎は直立で、先の方で分岐します。草丈は80センチ～140センチ。花は白、5月から6月に咲きます。花言葉は「味わいのある」「特徴がある」などです。写真は26日、吉川区下町にて撮影。

んだアンケート調査結果をどう受け止めるか、実効性のある避難計画は可能かなどをめぐって、パネルディスカッションを行いました。時間は少なかつたものの、今後の運動に役立つ内容だったと思います。

川谷の地すべり復旧工事は早くても来年春頃から

先月16日、吉川区川谷地内で発生した地すべりについての地元説明会が25日に行われました。

上越地域振興局の道路維持課の幹部のみなさんが被害状況、現在の対応、今後の対応などについて説明しました。このなかで土砂崩れの復旧工事は

早くても来年春頃からになることが明らかにされました。

説明によると、県道から地すべりの頭部までは約200メートルに及ぶこと、地すべりの発生範囲は長さ約130メートル、幅は最大で約60メートル、崩壊土砂量は7万立方メートル（推定）にもなるということです。

今後の対応ですが、ゴールデンウィーク前に地質調査に着手、7か所でボーリング調査などを3か月ほどかけて行い、地すべり、雪崩対策、道路の復旧方法を総合的に検討していく予定だそうです。国土交通省と協議して災害復旧工事とするので、原形復旧が基本となるが、工事着手は、早くても令和5年春頃の見込みとのことでした。

地元住民からは、「今回の地すべりで川谷町内会が2分された。田畑の仕事でも分断された人がいる。町内移動でう回路を使うと約20分にもなる。川谷地区を走行していたバスは上川谷まで行かず、買い物などで不便をきたしている。これまで地域で助け合ってきたがなかなかやりにくくなった。できれば、近くの農道を使ったう回路を検討してほしい」という訴えがありました。

※「しんぶん赤旗」日曜版は5月1日号と8日号は合併号となります。活動レポートの次号は15日の発行です。

はしづめ法一の
活動レポート

No.2059 2022.5.1

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見た
ある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

30⁺圏内自治体に事前了解権を UPZ議員研究会が長岡市で集会

柏崎刈羽原子力発電所30⁺圏内議員研究会（会長は関三郎見附市議）は24日、地元紙に意見広告を出すためのクラウドファンディングを25日からスタートさせるキックオフ集会をハイブ長岡で開きました。

集会では関会長がこの会の目的とこれまでの取組について説明した後、平良木哲也上越市議と関貴志長岡市議が今回のクラウドファンディングについて説明しました。

柏崎刈羽原発の再稼働に当たっては30⁺圏内の自治体に事前了解権を与え、それを東京電力との安全協定に盛り込むべきだ、という意見広告を8月15日までに新潟日報に掲載したい。その費用は約180万円。この費用を25日から6月23日までのクラウドファンディングで集めようという内容です。

続いて元巻町長の笹口孝明さんが「原発と向き合う自治体の役割」というテーマで講演しました。笹口さんは、この会の取組について、



「たいへん意義あることだ。県や東電だけではダメ。30⁺圏内（UPZ）の事前了解が必要だ。困難があるだろうがぜひ実現してほしい」「知事選では柏崎刈羽原発の再稼働が最大の争点だし、なるべきだ。争点ばかりにならないようにしよう」「重大なことはみんなが決めよう。原発については、日本は政策転換を図り、大きく舵を切るべき時に来ている。原発のない社会をつくろう」と訴えられました。笹口さんの話は初めて聴きましたが、分かりやすく、無駄がない、とても好感のもてる講演でした。

講演後、飯塚寿之柏崎市議が進行役を務め、笹口さん、関会長、長井由喜雄燕市議、諏佐武史長岡市議で、会が昨年取り組



【シャク】（再掲）セリ科の多年草。漢字で「杓」と書きます。別名は「ヤマニンジン」です。山地で湿気のある場所に多く見られます。茎は直立で、先の方で分岐します。草丈は80センチ～140センチ。花は白、5月から6月に咲きます。花言葉は「味わいのある」「特徴がある」などです。写真は26日、吉川区下町にて撮影。

伊藤親臣さんが雪冷熱エネルギーの活用で講演

『空から宝ものが降ってきた』（旬報社）の著者、伊藤親臣さんが26日、上越市議会で講演してくださいました。

んだアンケート調査結果をどう受け止めるか、実効性のある避難計画は可能かなどをめぐって、パネルディスカッションを行いました。時間は少なかつたものの、今後の運動に役立つ内容だったと思います。



伊藤さんは、雪は「冬の宝もの」として、雪を活用した雪国での暮らしについてたっぷり語りました。雪で涼しく過ごす。雪で楽しむ。雪で野菜やコメを美味しくする。雪で食料品を長持ちさせる。雪で電力消費量を減らす。雪を活用した様々な工夫によって、快適な生活の可能性が広がるということが明らかにされました。

講演の最後で伊藤さんは、「雪国に雪が降るのは当たり前。雪が解けるスピードを落とすことで、様々な雪効果をもたらす。雪の価値化を進め、環境にやさしい暮らしを実現しよう」と訴えました。もう一度、『空から宝ものが降ってきた』を読んでみたくになりました。

川合徹人さんがチャンピオン大会に参加

元安塚中学校教員の川合徹人さんが5月4日（水・休日）、NHKの自慢のチャンピオン大会に参加されました。NHK総合で同日の17時から18時まで放送されます。楽しみです。

※「しんぶん赤旗」日曜版は5月1日号と8日号は合併号となります。活動レポートの次号は15日の発行です。

はしづめ法一の
活動レポート

No.2059 2022.5.1

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見たある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七〇六回 十数年前の世界で

先日の夜、二三時三〇分頃でした。母の寝室に入ろうとしたら、びっくりしましたね。ベッドで寝ているはずの母がそばまで来て、戸につかまっていたのです。

「なしたか」

「コメ採りに行くつもりで……」

「そんな時間じゃないよ。寝ないや」

「ほっか」

「はい、遅いすけ、寝よさ」

そんなやりとりをして、母の手をとり、ベッドまで戻しました。普通なら、それで一件落着となるのですが、この日の夜はそうはいきませんでした。

母のベッド脇に布団を敷いて寝る準備をしてから、風呂に入るため洗面所に行っていると、母の部屋から物音がしました。「これはおかしい」そう思って、部屋に戻りました。すると、母はベッドの上で、上半身を起こし、「ニニニ」しています。

「とちや、連休だし、青空市場の方へ行かんねど。車、混んでるだろし。コメ採りに行こさ」

「こんな時間に行かんねこてね。それに、おまん、歩かんねよ、山なんか……」

「……」

「はい、寝ないや」

「……」

「お願いします。寝てくんない」

母はしぶしぶ横になり、目をつむりました。私は、母の胸に電気アンカを抱かせ、毛布、布団をかけました。

その後、私は風呂にさっと入って、いつもよりも早めに上がり、自分の布団の中に入りました。母を見ると、私が風呂に入るときと同じように目をつむったままです。「これなら大丈夫だ」と私も目をつむりました。

それから一時間も経たないうちに、「とちや」という母の声で起こされました。「なしたか、しっこか」

「ううん、出ね。きょう、デイサービスで背のでっけしよが4人、歩く練習してなつとお」

そう言っ母はベッドに腰掛けるようにして足の運動を始めたのです。

「いち、に、いち、に」

デイサービスで運動している人たちの様子が記憶に残っていたのでしょうか。母はしばらく足の運動を続けました。

明らかに母のテンションは上がっていました。そして、母はしゃべり続けます。「とちや、きょう、粕甘酒、ごっつおになつとお」

「そりや、いかつたね」

「サクラも見とお、ボタンザクラだねかな、でっけえ木で、ばかいかつとお」

「……」

「ありや梶かな、とちや、行つてみたか」
「うん、見たよ。はい、寝ましよう、寝ましよう」

この日の夜は、こんなことが二時間おきに繰り返されました。もう一つ、私の記憶に残っている話、三輪自転車のことです。

「とちや、おら、自転車買ってもらわんきやだめどお。買ってきてくれ」

「わかつた、わかつた、寝よさ」

「でっけえんだろつな、新しく買つてや。おら、どうしても、自転車ねきやダメだ

な。どつか、行かんねもん」

「……」

「カゴのついたがは注文しねきやだめだろな、店に並んでねもん」

長女によると、母は翌日の朝、牛舎へ行って牛の世話をするつもりでいたとのことでした。母はもう自転車には乗れないし、わが家は牛飼いまやめています。どうやら、母はいまから十数年前の世界で生きているようです。今度、牛を飼う、コメ採りに行くと言ったら、どう言つたらいいのでしょうか。「頑張るね」が一番かな。

雪が残っているなかでサクラ満開

安塚は奥へ行くと、雪もサクラもあるよ、と言われて21日、出かけてきました。

小黑川沿いのソメイヨシノも見事でしたが、円平坊から先のサクラは、まさに雪とサクラの共演で、素敵な風景になっていました。写真は上山のサクラです。



米本陣de春の縁日



17日、三和区の「米本陣de春の縁日」に行ってきました。天気が良かったこともあり、1000人を超える人たちが集まり、賑わいました。すごかったです。

私はコンサートに参加してきました。みなさん、お上手ですね。イラストはスリーピースのみなさんです。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月20日(水)	4月26日(火)
上越南消防署	0.053	0.050
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.040	0.043
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.043	0.047
名立分遣所	0.050	0.053
高士分遣所	0.047	0.047

春よ来い

第七〇六回 十数年前の世界で

先日の夜、二三時三〇分頃でした。母の寝室に入ろうとしたら、びっくりしましたね。ベッドで寝ているはずの母がそばまで来て、戸につかまっていたのです。

「なしたか」

「コメ採りに行くつもりで……」

「そんな時間じゃないよ。寝ないや」

「ほっか」

「はい、遅いすけ、寝よさ」

そんなやりとりをして、母の手をとり、ベッドまで戻しました。普通なら、それで一件落着となるのですが、この日の夜はそうはいきませんでした。

母のベッド脇に布団を敷いて寝る準備をしてから、風呂に入るため洗面所に行っていると、母の部屋から物音がしました。「これはおかしい」そう思って、部屋に戻りました。すると、母はベッドの上で、上半身を起こし、「ニニニ」しています。

「とちや、連休だし、青空市場の方へ行かんねど。車、混んでるだろし。コメ採りに行こさ」

「こんな時間に行かんねこてね。それに、おまん、歩かんねよ、山なんか……」

「……」

「はい、寝ないや」

「……」

「お願いします。寝てくんない」

母はしぶしぶ横になり、目をつむりました。私は、母の胸に電気アンカを抱かせ、毛布、布団をかけました。

その後、私は風呂にさっと入って、いつもよりも早めに上がり、自分の布団の中に入りました。母を見ると、私が風呂に入るときと同じように目をつむったままです。「これなら大丈夫だ」と私も目をつむりました。

それから一時間も経たないうちに、「とちや」という母の声で起こされました。「なしたか、しっこか」

「ううん、出ね。きょう、デイサービスで背のでつけえしよが4人、歩く練習してなつとお」

そう言っ母はベッドに腰掛けるようにして足の運動を始めたのです。

「いち、に、いち、に」

デイサービスで運動している人たちの様子が記憶に残っていたのでしょうか。母はしばらく足の運動を続けました。

明らかに母のテンションは上がっていました。そして、母はしゃべり続けます。

「とちや、きょう、粕甘酒、ごっつおになつとお」

「そりや、良かったね」

「サクラも見とお、ボタンザクラだねかな、でつけえ木で、ばかいかつとお」

「……」

「ありや梶かな、とちや、行ってみたか」

「うん、見たよ。はい、寝ましよう、寝ましよう」

この日の夜は、こんなことが二時間おきに繰り返されました。もう一つ、私の記憶に残っている話、三輪自転車のことです。

「とちや、おら、自転車買ってもらわんきやだめどお。買ってきてくれ」

「わかった、わかった、寝よさ」

「でつけえんだらうな、新しく買ってや。おら、どうしても、自転車ねきやダメだな。どっか、行かんねもん」

「……」

「カゴのついたがは注文しねきやだめだらうな、店に並んでねもん」

長女によると、母は翌日の朝、牛舎へ行って牛の世話をするつもりでいたとのことでした。母はもう自転車には乗れないし、わが家は牛飼いまやめています。どうやら、母はいまから十数年前の世界で生きているようです。今度、牛を飼う、コメ採りに行くと言ったら、どう言ったらいいのでしょうか。「頑張るね」が一番かな。

譜面台の飾りにウクライナ国旗

音楽グループ、「ピアス」が4月17日に開催したチャリティーライブで話題となったことの1つは、サクソ奏者、山崎伸さん（柿崎区在住）の譜面台のそこにはロシアに侵攻されているウクライナの平和を願って手づくりのウクライナ国旗が飾られていたのです。感動でした。



米本陣de春の縁日



17日、三和区の「米本陣de春の縁日」に行ってきました。天気が良かったこともあり、1000人を超える人たちが集まり、賑わいました。すごかったです。私はコンサートに参加してきました。みなさん、お上手ですね。イラストはスリーピースのみなさんです。

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月20日(水)	4月26日(火)
上越南消防署	0.053	0.050
上越北消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.047	0.050
頸北消防署	0.040	0.043
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.043	0.047
名立分遣所	0.050	0.053
高士分遣所	0.047	0.047